



# Rotary Club

## of Mishima-South

### Weekly Report

三島南  
ロータリー  
クラブ週報

2007～2008年度 国際RI会長 ウィルフレッド・J・ウィルキンソン  
ロータリー2008：ロータリーは分かちあいの心



三島南ロータリークラブ 会長 古屋 憲男  
クラブ会長基本テーマ「原点を学ぶ」

**第866回 例会** 2007.7.13 雨

司会：石井 邦夫君 指揮：遠藤 正亀君  
ロータリーソング 「我等の生業」

副会長 大房 正治 幹事 西原 克甫

事務所 三島市大社町17-4

Tel.055-976-6351 Fax.055-976-6352

<http://www.mishima-south-ro.gr.jp/>

例会場 三島グランドホテル Tel.055-975-4300

毎週金曜日 第1・第3夜間例会

## 会長挨拶

ロータリーの綱領

古屋 憲男君

地域によっては、ロータリークラブ例会は全員起立して、ロータリーの綱領を唱和することから始まります。

ロータリーの綱領とは「有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹、育成する事」

ロータリーの綱領は、必ずしも常にこのように表現されてきたわけではありません。1906年の最初の定款には、「事業関係の促進、良き朋友精神の促進、地域社会の最大利益の増進」の三つの項目の綱領でした。

その後、1910年・1915年・1918年・1927年・1935年・そして、最後の変更が1951年に加えられ、綱領は合理的に簡潔化されて、4項目からなる一つの「綱領」となったのです。「ロータリーのいろは」より

CLPに基づいてクラブ運営を計画実行するに当たり、ロータリーの綱領を充分理解し推進する必要があります、しかし、ロータリーの基軸である綱領でさえその完成には50年弱月日を要し、特にロータリー結成から30年は議論が白熱した様子が伺えます。我がクラブもCLPの基本理念そしてその定着には5年10年と必要かと思えます。

皆で三島南ロータリークラブの発展の為に!!  
分かち合いましょう。

## 幹事報告

西原 克甫君

訃報のお知らせです。

三島ロータリークラブ会員で第46代会長の尾崎光男君が7月11日ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表すと共に心からご冥福をお祈り申し上げます。なお、御通夜、告別式には古屋会長が出席されます。

## 出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前回	34/37	91.89%	34/37	91.89%
今回	32/36	88.89%	会員総数	36名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			
	岡君 ・ 片野君 ・ 山上君 ・ 山本(良)君			

ようこそ  
南クラブへ

ゲスト・ビジター

岸本 勝一君(長泉RC、第2分区ガバナー補佐)

あめでどう

会員誕生日

田中 四史生君 7月17日

会員要事

## スマイルボックス

(50音順)

古屋 憲男君

日頃はボイスQに対し、ご理解とご支援をいただき、ありがとうございます。この度、ボイスQでは、裾野カンツリークラブで行われる「ファンケルクラシック シニア大会」の入場券を取り扱っています。今回、南クラブのメンバーには無料にて差し上げます。必要な方は一人2枚以上にて、ご活用ください。

田中 四史生君

岸本ガバナー補佐、ごころうさまで。あと1年お世話になります。がんばってください。

大房 正治君

7月16日14時より、日大三島対静岡大成の静岡県高校野球予選を実況し、解説することになりました。時間があったら、7.7ボイスQにチャンネルを合わせてください。

澤田 稔君君

古屋会長、西原幹事、頑張ってください。

山梨 一正君

年度替りの時期に、3週連続で欠席しました。無事退院しましたので、スマイルします。



## 卓 話

### ●クラブ協議会：各委員会事業計画発表

詳細は「クラブ計画および目標」冊子をご覧ください。

## 補佐就任訪問 ご挨拶

静岡第二分区 ガバナー補佐 岸本 勝一君

第2620地区初めての珍事といわれて再度ガバナー補佐を務めさせていただきます。

第二分区会員311人(女性会員21人、男性会員290人)皆さまの温かいご支援を受けて第二分区発展のため尽力を尽し寄与する所存です。



前年度ガバナー補佐は母体クラブで「トラブルメーカー」と批判された。その所以の考察が必要である。少人数の所属クラブでは役を継続的に担うようになり、同時に地区関係会合の出席も多く地区の情報に詳しくなる。出席者はクラブ利益代表として意見を述べ質疑し回答を求め“みんなのためになる”広報をしなければならない。

なかに正確性に欠ける伝聞情報をもとに批判者は事実関係を知らうとせず自己保身、自己欲望の“自分のために”陰で発言する。ロータリースピリットが貧困である。同情を禁じえない。

ガバナー補佐就任にあたり高尚な表現で「第二分区の運営は、何人の専横専断をも許さず、あまねく会員の公儀公論に基づいて行う」であります。

「開かれた物申す」はこれからの社会には大切なことで積み重ねることによって進歩と進化のうえに発展がある。よい例は株主総会集中の時期、総会のあり方を変えた株主の権利を主張する「モノ言う株主」。よい質疑応答で経営陣の発想が変わりつつあるとある。その他にも「モノ言う若い世代」「モノ言う団塊世代」など自己主張が多様の時代である。

東本願寺の基盤を作った「中興の祖、蓮如上人」の極めて分かり易いお言葉がある。

蓮如上人は、「自分の思っていることを口に出していえ」とたびたび仰せになった。

「口に出していない者は、心の中で何を考えているのか判らないから、恐ろしい」

ともおっしゃった。

また、「信心を得ている者も、信心を得ていない者もともに、ただ口に出して思っていることをいえ」と仰せになった。

また、「口に出していえば、その人の心の中も知られる。

また、その言葉が間違っていたならば、人はなおしてくれるものである。だから、ただ口に出して思っていることをいえ」とおっしゃった。〔蓮如上人御一代記聞書〕

## ●補佐公式訪問 ご挨拶

本年度目標方針などの国際ロータリーに関してはウィルフレッド・J・ウイルキンソン会長挨拶。地区に関しては道部乗ガバナー挨拶を熟読されるようお願いいたします。ガバナー補佐としては道部乗ガバナー方針に沿った前年度ガバナー補佐策定の第二分区共通課題を継承し、第二分区カラーで実のある果実に育てようではありませんか。

全会員が「モノ申す会員」となって“みんなのためになる”をモットーに話し合いながら事を進めていきます。

各クラブの運営、奉仕活動は見かけは同じでも内容が大きく違います。本年度からCLP導入は4クラブ、勉強準備は3クラブで、これからの進化、進歩のあるクラブ発展にはRI方針を大局的な対応で受入れが肝要と思われます。

CLP時代を向かえ、発展のため前年度継承の第二分区共通課題として改めて下記事項を提案します。

提案事項に関し実務担当の各幹事は前年同様、積極性ある行動家です。早々に課題に取り組み第二分区隆盛に大きな期待がもてます。

### 共通課題

1. CLPの勉強会。
2. IM時における合同例会。
3. 7クラブ合同新年例会。
4. 定例7クラブ幹事会。
5. 4年後にくるガバナー選出及び協力体制。
6. GSE受け入れ、派遣。

## Photo Gallery



クラブ名変更特別研究プロジェクト HAPPY BIRTHDAY 田中四史生君  
委員会 委員長鈴木政則君



次回例会 7月20日 クラブフォーラム  
クラブ管理委員会 山本 良一 君